ドライブ
ユーザ ガイド

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2009 年 3 月

製品番号：515639-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

目次

1 ドライブの取り扱い

2 オプティカル ドライブの使用

取り付けられているオプティカル ドライブの確認 3
オプティカル ディスクの使用 4
正しいディスク（CD、DVD、および BD）の選択 5
CD-R ディスク 5
CD-RW ディスク 5
DVD±R ディスク 5
DVD±RW ディスク 5
LightScribe DVD+R ディスク 5
ブルーレイ ディスク（BD） 6
CD、DVD、または BD の再生 7
自動再生の設定 8
DVD の地域設定の変更 9
著作権に関する警告 10
CD、DVD、または BD のコピー 11
CD または DVD の作成（書き込み） 12
CD、DVD、または BD の取り出し 13

3 外付けドライブの使用

4 ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用 15
ディスク クリーンアップの使用 15

5 ハードドライブ ベイ内のハードドライブの交換

6 トラブルシューティング

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合 20
コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合 21
ディスクが再生できない場合 22
ディスクが自動再生されない場合 23

1 ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

2　オプティカル ドライブの使用

お使いのコンピューターには、コンピューターの機能を拡張するオプティカル ドライブが搭載されています。コンピューターに搭載されているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。オプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。お使いのコンピューターにブルーレイ ディスク ROM ドライブが内蔵されている場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ **[スタート]→[コンピュータ]**の順に選択します。

お使いのコンピューターにインストールされているオプティカル ドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- スーパーマルチ DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- スーパーマルチ/LightScribe DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- LightScribe/スーパー マルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）

注記： 一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM などのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい記憶容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。オプティカル ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブである場合、ブルーレイのディスクを読み取ることもできます。

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、コンピューターでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD+RW DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
スーパーマルチ DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可
スーパーマルチ/LightScribe DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	可
ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパーマルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可
LightScribe/スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	可

注意： オーディオやビデオの劣化やデータの損失、または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスク（CD、DVD、および BD）の選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD および BD は、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVD と BD のフォーム ファクターは CD と同じですが、容量ははるかに大きくなります。

注記：　お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカル ディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R ディスク（ライト ワンス）は、主に必要に応じて共有できるデータの永続的なコピーを作成するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要のあるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を永久的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最も適しています。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤでの読み取りに

対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク（BD）

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。

通常は、以下の用途で使用します。

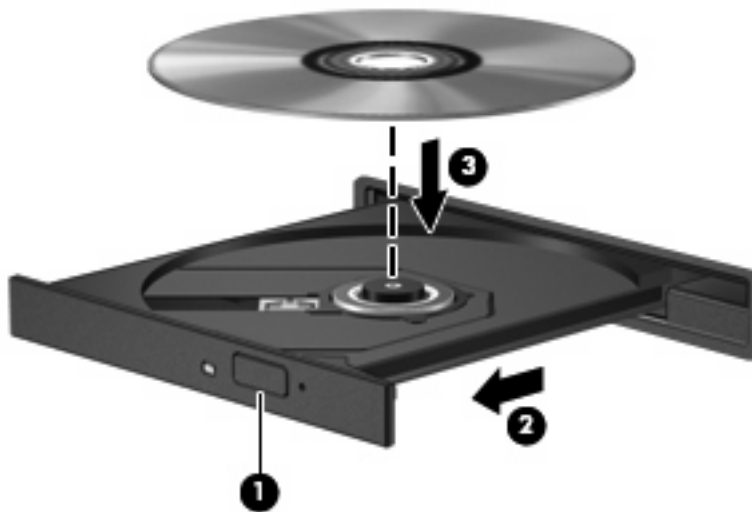
- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生と保存
- ビデオ ゲーム

注記： ブルーレイは新技術を搭載した新しいフォーマットであるため、一部のディスク、デジタル接続、互換性、またはパフォーマンスに問題が起こる可能性がありますが、これは欠陥ではありません。すべてのシステム上での完全な再生は保証されていません。

CD、DVD、または BD の再生

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生動作を設定していない場合は、次の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

注記： 最適な状態で使用するためには、BD の再生中は AC アダプターを外部電源に接続していることを確認してください。

自動再生の設定

1. **[スタート] →[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]**の順に選択します。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[初期設定を選択する]**をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類から、使用可能なオプションのどれかを選択します。

   注記： [HP DVD Play]を選択して DVD メディアを再生します。

4. **[保存]**をクリックします。

注記： [自動再生]について詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択して参照してください

DVD の地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**→**[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側のパネルで、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   注記： Windows®には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブをクリックして、設定を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

著作権に関する警告

コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** データの損失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインを参考にしてください。

ディスクに書き込む前に、コンピューターを安定した外部電源に接続してください。コンピューターがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。その情報をハードドライブに保存し、次にハードドライブからコピー先のディスクに書き込みます。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ディスクに収録されているか、ソフトウェアのヘルプに含まれているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

CD、DVD、または BD のコピー

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink DVD Suites]**（CyberLink DVD スイート）→**[Power2Go]**の順に選択します。
2. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面右下の**[コピー]**をクリックします。
4. メッセージが表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

   データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

CD または DVD の作成（書き込み）

注記： 著作権に関する警告に従ってください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

お使いのコンピューターに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータ、動画、およびオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参照してください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

  注記： [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。

   注記： サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]**を右クリックして**[エクスプローラ]**をクリックし、元のファイルを保存したフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

CD、DVD、または BD の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

3 外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。USB ドライブを追加するには、コンピューターの USB コネクタに接続します。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ

注記： 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

注意： 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを、接地した外部電源のコンセントに差し込みます。

別電源が必要なドライブを取り外すときは、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

4 ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント調整機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

5 ハードドライブ ベイ内のハードドライブの交換

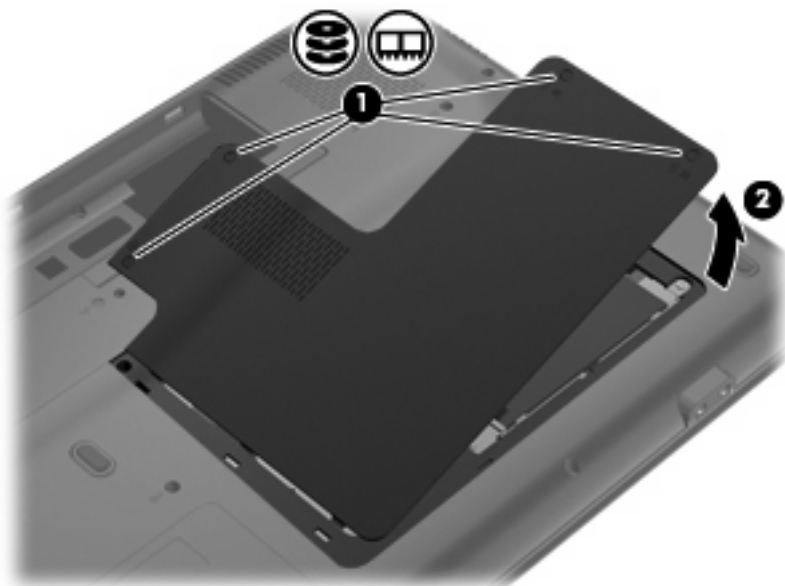
△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

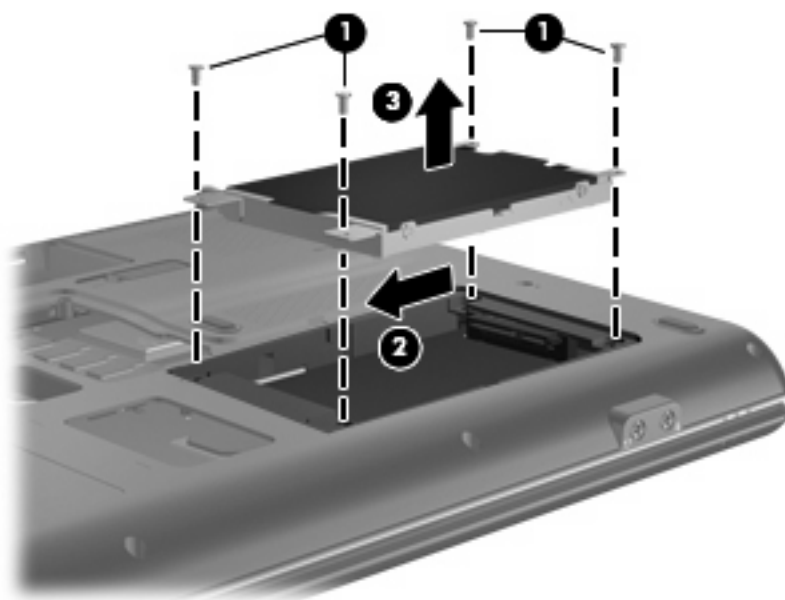
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリを取り外します。
7. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、ハードドライブ カバーの 4 つのネジ（**1**）を緩めます。

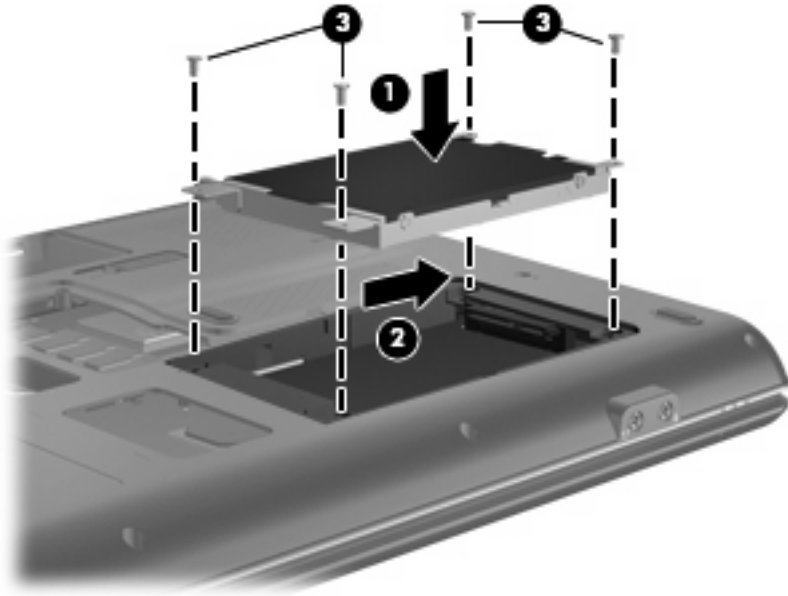
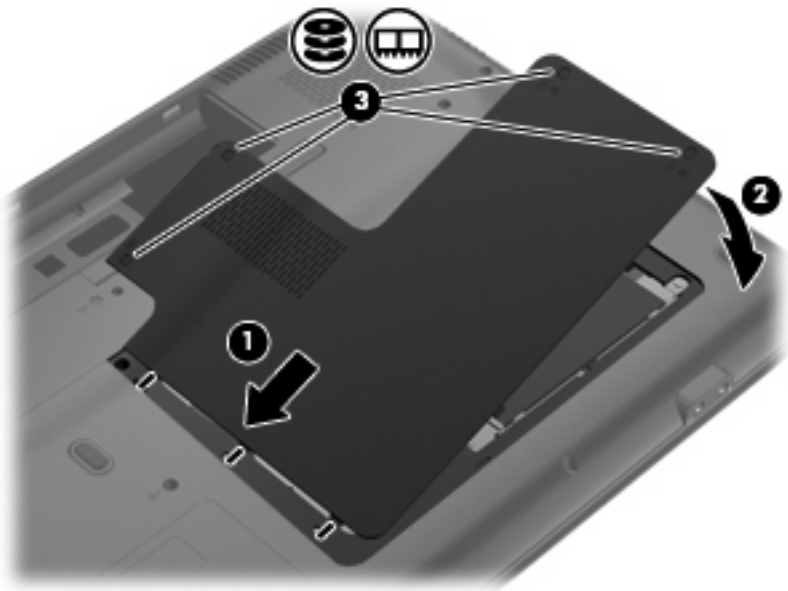
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて（**2**）、コンピューターから取り外します。

9. ハードドライブをコンピューターに固定している 4 つのネジを取り外します（**1**）。

10. ハードドライブ タブを左方向に引いて（**2**）、ハードドライブの固定を解除します。

11. ハードドライブを持ち上げて（**3**）ハードドライブ ベイから取り外します。

ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**1**）。

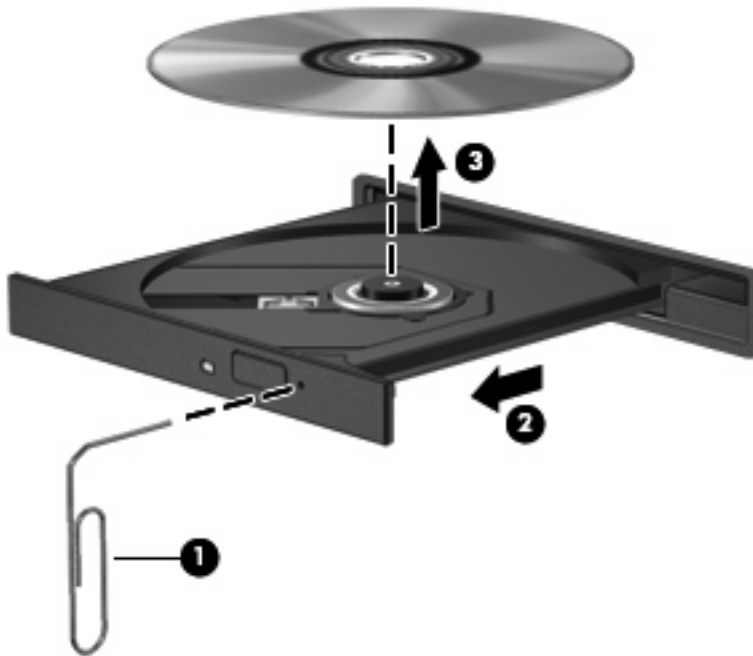
2. カチッと音がするまでハードドライブ タブを右方向に引いて（**2**）、ハードドライブを所定の位置に固定します。

3. ハードドライブをコンピューターに固定するための 4 つのネジを元の場所に取り付けます（**3**）。

4. ハードドライブ カバーのタブを、コンピューターのくぼみに合わせます（**1**）。
5. ハードドライブ カバーを閉じます（**2**）。
6. ハードドライブ カバーの 4 つのネジ（**3**）を締めます。

6　トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合

オプティカル ドライブをコンピューターが検出しない場合は、デバイス ドライバー ソフトウェアがなくなったか壊れている可能性があります。オプティカル ドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカル ドライブが[デバイス マネージャ]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、[検索の開始]ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。

   ドライブが表示されていない場合は、「デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合」セクションの説明に沿って、デバイス ドライバーをインストール（または再インストール）します。

ディスクが再生できない場合

- CD、DVD、または BD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD、DVD、または BD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  - 再生が再開します。

  または

  - マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
  - プリンターやスキャナーなどの外付けデバイスの電源を切り、外付けカメラや Pocket PC などの外付け携帯デバイスの電源ケーブルを抜きます。これらのプラグ アンド プレイ デバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

    1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

ディスクが自動再生されない場合

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[CD または他のメディアの自動再生]**の順にクリックします。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[保存]**をクリックします。

これで、CD、DVD、または BD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

DVD を再生するには、[HP DVD Play]を使用します。[HP DVD Play]はコンピューターにインストールされています。また、HP の Web サイト、http://www.hp.com/jp/からも入手できます。

デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]で、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールまたは再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM、モデムなど）の横にあるプラス記号（＋）をクリックします。
5. 表示されているドライバーをクリックし、delete キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバーを削除することを確認します。ただし、コンピューターは再起動しないでください。

   削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。
6. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、ツールバーの**[ハードウェア変更のスキャン]**アイコンをクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバーを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバーをインストールします。

注記： コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

7. 必要に応じて[デバイス マネージャ]を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。
8. プログラムを再度実行します。

初期設定のデバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

Microsoft®デバイス ドライバーの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この Windows の機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx を表示します。
2. **[セキュリティ]**をクリックします。
3. **[Microsoft Update]**をクリックしてコンピューターのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
5. **[変更する]**をクリックして、[Microsoft Update]で Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品のアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

HP デバイス ドライバーの入手

HP デバイス ドライバーを入手するには、以下のどちらかの操作を行います。

[HP Update Utility]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックし、ユーティリティがWeb 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして HP のソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、http://www.hp.com/jp/support/を表示します。
2. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、[製品名・番号で検索]フィールドにお使いのコンピューターの製品名または製品番号を入力してから、enter キーを押します。

   または

   特定の SoftPaq が必要な場合は、**[製品名・番号で検索]**フィールドに SoftPaq 番号を入力し、enter キーを押して直接検索することもできます。手順 6 に進んでください。
3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. Windows Vista®オペレーティング システムをクリックします。
5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. 更新されたドライバーをインストールするには、**[ダウンロードを開始する]**をクリックします。

   注記： 地域によっては、ドライバーをダウンロードしておいて後でインストールできる場合があります。その場合、コンピューターにファイルを保存するには、**[ダウンロードのみ]**のような、ダウンロードを行うためのオプションをクリックします。メッセージが表示されたら、**[保存]**をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。ファイルをダウンロードしたらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。
7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

索引

B

BD
- コピー　11
- 再生　7
- 取り出し　13

C

CD
- 書き込み　12, 24
- コピー　11
- 再生　7
- ドライブ　2, 14
- 取り出し　13

D

DVD
- 書き込み　12, 24
- コピー　11
- 再生　7
- 地域設定の変更　9
- 地域設定　9
- ドライブ　2, 14
- 取り出し　13

L

LightScribe/スーパー マルチ DVD ±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）　4

お

オプティカル ディスク
- 再生　7
- 取り出し　13

オプティカル ドライブ　2, 14

く

空港のセキュリティ装置　1

し

自動再生　8

す

スーパーマルチ DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）　4

スーパーマルチ/LightScribe DVD ±RW および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）　4

そ

外付けドライブ　14

ソフトウェア
- ディスク クリーンアップ　15
- ディスク デフラグ　15

ち

地域コード、DVD　9

著作権に関する警告　10

て

ディスク クリーンアップ ソフトウェア　15

ディスク デフラグ ソフトウェア　15

ディスク パフォーマンス　15

デバイス ドライバー
- HP ドライバー　27
- Windows ドライバー　26

と

ドライブ
- オプティカル　2, 14
- 外付け　14
- 取り扱い　1
- ハード　14, 16, 17
- フロッピーディスク　14
- ハードドライブ、オプティカル ドライブ*も参照*

トラブルシューティング
- HP デバイス ドライバー　27
- Windows ドライバー　26
- オプティカル ディスク トレイ　20
- オプティカル ドライブ検出　21
- ディスクの再生　22, 23
- ディスクへの書き込み　24
- デバイス ドライバー　26

は

ハードドライブ
- 交換　16
- 外付け　14
- 取り付け　17
- 取り外し　16

ふ

ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）　4

フロッピーディスク ドライブ　14

め

メンテナンス
- ディスク クリーンアップ　15
- ディスク デフラグ　15